

式 辞

令和元年度
卒業式

55期生579名の皆さん、卒業おめでとうございます。

また、前橋育英高等学校第55回卒業授与式を挙げるに当たり、保護者の皆さまにご臨席ありがとうございましたこと、高い席からでございますが、教職員を代表し、心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、3年前の今頃を思い出してみてください。前橋育英高校に入学することに期待と不安を抱いていたことと思います。そのとき抱いていた未来に対する夢や希望は何だったでしょうか。そのときの夢や希望にどれだけ近づけたでしょうか。夢は簡単には叶えることが出来ないからこそ、「夢」といわれます。だからこそ、夢は人を動かす原動力にもなっています。「初心忘るべからず」という有名な言葉があります。夢を叶えるためには、気持ちを常に新鮮に保つことが大切です。今、前橋育英高校を卒業するにあたり、初心に帰り、もう一度「夢」をあたため直して、大きな目標として掲げ、広い世界に進んで下さい。

今年度のスローガンは、「Take Action Now今、行動を起こそう。」でした。「やりたいことがあるのになかなか行動に移せない」「もっと行動力のある自分になりたい」など行動が大切だとわかっていてもなかなかできなかったことがあると思います。行動を起こすために大切なのは、環境です。皆さんには、無限の可能性があります。三つの環境を整えることで、皆さんの行動は、飛躍的に変化していきます。①夢・②仲間・③時間です。環境を整えることで必ず飛躍的な進化が始まります。夢を明確にし、同じ思いの仲間がいる環境にぜひ自ら飛び込んでいって下さい。そしてきちんと優先順位を決めて時間を作って下さい。そして「とりあえずやり始めて下さい。」やる気が湧いてくるのを待っていても行動力は湧いてこないです。行動すればその気になってきます。これは、脳科学的にも心理学的にも証明されています。やる気に行動を支配させては、ダメです。行動でやる気を支配することが大切です。行動を起こした結果、成功したかが重要ではありません。行動を起こすこと自体が人の幸せだと思います。例えば、電車の中で思い切って、席を譲ってみると感謝されることもあるし、感謝されないこともあります。けれども、いずれにせよ、気分は、とても高揚します。行動を起こすこと自体が、人の幸せなのです。

以上、前橋育英高校を卒業するにあたり、この3年間で培ってきた知識、人間力を大事にし、さらに新たなステージへのチャレンジ、そのための努力により、みずからの夢を思い描きながら、地域や社会に貢献する大人へと成長されることを心より願っています。

それでは、卒業生の皆さんの今後ますますの活躍を期待して、本日の式辞とさせていただきます。

令和2年3月2日

学校法人 群馬育英学園 前橋育英高等学校
校長 山田 耕介